

瀬戸の赤津窯の里めぐりに行ってきました！2016年5月7日の土曜日です。

参加者が増えたかな？

今回の赤津窯の里めぐりに参加して思ったのは、人が増えた？ってことです。



朝10時、窯めぐり開始から1時間後ですが、参加グループがいくつもあります。明け方まで雨が降っていて、天気予報は曇りでも、この人出です。



作助さんの工房は、芝生の広場にいくつもテントがあって活気があります。

赤津の窯の里めぐりには10年ほど通っていますが、2,3年前から「参加者が増えてきたかな？」と感じていました。

それ以前は、落ち着いた年齢＝シブい陶磁器を好む世代のお客さんがメインだと思ってましたが、ここ2,3年は子供連れのファミリーや20代、30代のお若い方をお見かけします。

いいよね！どんどん新しい参加者が増えて、瀬戸の赤津を知ってもらいたいです。ステキな陶器がいっぱいあるから。

若いうちから良いモノを見ると、人生が豊かになる気がします。

私はアートや芸術がさっぱり分かりませんが、赤津に通うようになって楽しみが増えました。例えばレストランへ行っても、食事の味だけじゃなくて、食器にも興味を持てるようになり、一度で二度楽しめてオイシイというか、オトクというか^^

こんな食いしん坊で品のないささいなことでも、楽しみが増えるのはいいことだと思っています。

スタンプラリー

今年のスタンプラリーも人気でした！

9時40分頃に赤津焼会館へ着きましたが、5コースのうち2コースは売り切れていました。

私はDコースを選んで、稲山陶苑、利山窯、飽津窯、、喜多窯霞仙、麦仙春日窯の5ヶ所です。



稲山陶苑さんのスタンプがお魚型でかわいかった！

子供も「お魚だね！」とうれしそうにスタンプしてました。

スタンプラリーは子供がとっても楽しみにしています。

「陶器の窯めぐり」というとシブいイベントですが、実は「スタンプラリー+お散歩」イベントとしても楽しめます。子どもが喜ぶので、ぜひファミリーでご参加を！ベビーカーでめぐってる3世代親子もいましたよ。

スタンプラリーのご褒美

スタンプラリー完了後、赤津焼会館でくじ引き…今回いただいた器は…



あれっ？前回と同じ器！三次五三さんの鉢です。

ラッキー！揃いの器ができちゃいました！

使い勝手の良い大きさと、我が家で大活躍しています。おひたしや肉じゃがを盛ってもいいし、冬は鍋物の取り皿にも使っていました。夏はトッピングたっぷりの冷や奴に使いたいです。おばあちゃんは毎日サラダに使ってます。

飽津窯

飽津窯さんでは、豆皿が気になりました。



織部の豆皿いっぱい！って思ってたら



こっちにも豆皿コーナーが！



あいかわらずゆかいな絵付けです。うーん、楽しすぎる…

赤津の窯元で電車の豆皿を見つけるとは思いもしませんでした。電車大好き次男(1歳)が見たらギャラリー内で大騒ぎしそうだったので、親だけでこっそり楽しみました。

赤津焼会館のテーブルセッティング展示のテーマは「豆皿御膳」でした。だからこんなに豆皿いっぱいなの？



飽津窯さんの陶板焼、毎回楽しみな方もいらっしゃるのでは？

1枚で7枚焼けます。1枚ずつ柄が違ってておもしろいです～しかも宮地さんらしいオモシロ柄。市販のフライパンでは買えませんよね！

今回はホットケーキじゃなくてねぎ焼きしてらっしゃいました。ねぎ焼きでもしっかり柄がついてたのに感心しました。

西山窯

西山窯さんへも伺いました。窯の里めぐりの参加窯ではありませんが、カフェで休憩する人も多いようです。利山窯さんへ向かう坂の手前にあります。



カフェの入り口。坂を登ります。



カフェへの通路の坂を登ると、窯元らしいこんな場所が。焼き物の町、瀬戸市って風景ですね。

[せとまるっとミュージアム カフェギャラリー西山窯](#)

作助

作助さんのギャラリーにも伺いました。

赤津窯の里めぐりの日は、ギャラリーの二階がカフェになります。普段だと敷居が高いギャラリーですが、カフェで開放されると入りやすいです。



お抹茶の和菓子の黄瀬戸がステキ…自宅だと何に使っていいのか悩むサイズですが、和菓子1つにはピッタリ上品ですね。



抹茶茶碗は織部でした。写真が他手も灰釉や土傷があれませんか？気になる方はカフェでお抹茶
ぐい呑みでエスプレッソ

作助さんはギャラリーと工房が離れた場所にあります。

工房はオープンエアのエスプレッソカフェが開催されていて、ぐい呑みでエスプレッソが飲め
ました。

ぐい呑みに珍味を盛るといふ使い方は聞きますが、エスプレッソって、新しい使い方ですよ
ね。